



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



「白馬三山の紅葉」東6病棟看護師長 浄泉 英子 撮影

第26号 目次

院長のことば	1
新病院建築状況	
新病院になったら何が変わるか	2
電子カルテ/特殊病棟 NICU・GCU	
地域医療連携	3
病診連携施設紹介	
気になる病気	4
コメディカルからの一口メモ	5
トピックス	
研修報告	6
行事紹介	7
看護学校 楓葉祭	
病院納涼祭	
職場紹介	8
西4階病棟・MA室	

お知らせコーナー

看護師募集のお知らせ	9
看護学生募集・学校説明会	9
患者数の動向/編集後記	10
外来担当医表	11

発行 月：平成21年10月
 発行 行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会

発行責任者：高橋 俊毅
 住 所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電 話：045-851-2621
 F A X：045-851-3902
 U R L：http://www.hosp.go.jp/~yokoham/



●当院携帯サイトはこちらから

院長の言葉

－ 5ヶ月後に迫った新病院の診療開始 －

院長 高橋 俊毅

現在、予定を上回るほどに新病院の建築工事は順調に進行しています。平成22年1月29日に引き渡しを受け、医療機器設置や電子カルテをはじめ様々な運用マニュアルなどの研修やシミュレーションなどの移転準備を行って平成22年3月30日の患者移送から新病院での診療を開始する予定です。建物の高さ制限解除で横浜市に提供する12,000㎡の公開空地は緑地公園化し学童の通学路や地域の方々の散策などにご利用いただきます。敷地の北西部の免震構造7階建て510床の白を基調とするコンパクトで機能的な病院は旧東海道の峠部にあたるため、西に富士山、東にランドマークタワーが遠望され、南は湘南方面が望めます。箱根駅伝の3区、8区の坂道でランナーを悩ます国道1号線と環状4号線が交差する有名な「渋滞の原宿交差点」のすぐ傍ですが、交差点の立体交差により渋滞も緩和される予定です。また、当院の利用者にご不便をかけていた病院前の道路状況も住民の方はじめ関係官庁や会社のご尽力で改善される予定です。

横浜市南西部地域中核病院となる新病院は、横浜市から①救命救急医療②二次救急医療（横浜市小児救急医療拠点病院）③初期救急医療（内科・外科・小児科の24時間365日受け入れ）④周産期医療⑤救急医療の受け皿としての精神科医療⑥精神科合併症医療（他院からの合併症患者の受け入れ）⑦災害医療（災害医療拠点病院）⑧エイズ医療（エイズ治療拠点病院）⑨その他（病院機能評価の認定等）が要望されています。これらすべてを可能にする新病院は、診療科27科、10病棟、医師90名、後期研修医・レジデント18名、初期研修医16名、看護師449名、7:1看護体制、救命救急センターを核として急性期型高度総合病院として三次までの地域完結型医療を行います。病棟は機能および臓器別センター方式として、救命救急センター(ICU/CCU 10床)、脳神経センター(SCU 3床)、消化器センター、循環器センター(HCU 8床)、母子センター(NICU 6床 GCU4床)などとなります。

新病院での診療開始にあたり改めて「患者中心の病院」「断らない病院」を職員全体で再認識し実践して「地域で選ばれる病院」となれるように努力していきます。

病棟移転を安全に滞りなく行うために3月29日(月)から4月2日(金)までは救急患者以外の外来の停止、在院患者さんの半分以下への縮減などを行わなければなりません。ご利用の方に大変なご負担を強いることになりますが行政や地域の医療関係者そして住民の方々にはご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

新病院建築状況

営繕専門職 山崎 忠雄

10月末までに外装タイル工事が終了し、工事出来高も70%を超えるところまで進捗する予定です。

工事中、重機の騒音や振動により患者様並びに近隣住民の皆様にご迷惑をおかけしておりますが、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。



足場の取れた外観北面



1階ホール天井部分



病棟廊下天井張り作業

新病院になったら何が変わるのか

電子カルテの導入について

医療情報部長 田中 直秀

平成22年4月1日の新棟開院と同時に新しく病院情報システム(電子カルテシステム)をスタートさせます。すでにオーダリングシステムの一部導入、院内LAN等、当院のIT化に向けて努力を続けて来ましたが、今回の導入により殆ど全ての部門のIT化が図られ電子カルテ上で情報の一元化が可能となります。

当院の電子カルテの特徴は以下のようになります。

1. 標準パッケージ型電子カルテ
2. 部門システムの充実
3. ペーパーレス・フィルムレス
4. クリティカルパス対応
5. バーコード患者認証
6. 十分な端末台数の確保

当院では導入の検討段階でノンカスタマイズの標準パッケージ型電子カルテを使用すると決めていました。理由はカスタマイズにかかる費用とそれによって発生する可能性のあるシステムの不具合を避けるためです。その代わり部門の充実を可能な限り図って、さらに足りない部分は運用でカバーする方針です。またごく一部を除いて紙運用をなくし、フィルムも全廃にします。医療の質の向上及び効率化に欠かすことの出来ないクリティカルパスをより一層活用するためにクリティカルパス対応型電子カルテとしました。あってはならない注射薬等の誤投与を避けるためにバーコード患者認証を取り入れました。診療に支障を来すことのないように、可能な限り多数の端末を用意することにしました。

電子カルテは最も高価な医療機器と考えられますが、単独では何らの収入ももたらしません。しかしながら現行の日常診療で行われている、頻繁のカルテやレントゲン袋の移動や所在の確認に費やされる膨大なエネルギーと時間のロスを補うことが可能となります。

何より全職員が患者さんの情報をいつ、どこでも共有することが可能となり医療の質の向上に貢献出来ると思います。

特殊病室 - N I C U ・ G C U -

小児科部長 鍋木 陽一

平成22年4月の新病院スタートと同時に、4階東病棟母子医療センターにおいてN I C U 6床とG C U 4床での治療が開始されます。N I C UとはNeonatal Intensive Care Unit、G C UとはGrowth Care Unitの略で、新生児特定集中治療室と回復期治療室のことです。最新の患者情報管理システムを導入し、24時間体制で常時新生児を担当する医師と2~3名の看護師が勤務します。今までも小児病棟内の6床の新生児室で、神奈川県周産期救急システムの協力病院として参加しており、産院からの新生児救急入院、基幹病院からの回復期受入れ入院は年々増加し、昨年度はいずれも2年前の3倍となりました。新病院スタート後は、新たに中核病院小児科として、N I C U + G C U 計10床でなお一層の地域医療への貢献が出来ればと思います。

地域医療連携

病診連携施設紹介

若杉診療所

診療科目：内科 消化器科 外科 肛門科

いつも大変お世話になっております。

横浜医療センターの職を辞し平成16年6月に戸塚区の汲沢に診療所を開設して5年が経過し、少しずつ地域に根ざしてきたように最近になって思えるようになりました。当院は地下鉄の踊場駅からは徒歩2～3分、横浜医療センターまでは車で10分前後のところにあります。患者さんは診療所近辺にお住まいの方が多くなりましたが、横浜医療センターに勤務していた時からお付き合いのある人もいて、遠くは鎌倉や茅ヶ崎からも利用していただいています。



若杉 純一 院長（上右から2人目）

開院当初から外来診療と在宅医療を行ってきましたが、2年前から訪問看護業務も始めました。消化器だけでなく循環器や呼吸器疾患、生活習慣病や外傷など様々な愁訴の患者さんがお見えになりますが、手術後の患者さんも多く術後のフォローアップ、乳癌・消化器癌の化学療法、癌性疼痛の緩和やターミナルケアも行っているのが当院の特徴かもしれません。特に在宅医療を行ってから病院勤務時代には接することの少なかった、多くの訪問看護・介護・リハビリのスタッフやケアマネージャーと知り合うようになり勉強させられることが多く「地域医療」の必要性と難しさを感じ、病診連携の重要性を痛感します。

横浜医療センターは当院から近く旧知の先生も多いので、日頃からスタッフの皆様には大変お世話になっております。いつでも何時でも患者さんを快く引き受けてくださり深謝いたします（一度も断られたことはありません）。これからも横浜医療センターと連携して地域で完結する医療に少しでもお役に立てればと思います。

当院は看護師4人・事務職員3人ですが、私か妻のどちらかに縁があるので「血族？」のようでもあり和気あいあいとやっています。全員が有能で優しいスタッフなので患者さんはスタッフと話すことでかなり癒されているようです。このようなスタッフとよい患者さんに囲まれて仕事ができる毎日に日々感謝しています。これからも宜しくお願いします



若杉診療所

〒244-0802 神奈川県横浜市戸塚区汲沢8-4-6

TEL 045-869-5261

診療時間 9：00～12：30

14：30～17：00

休診日 水曜日、日曜日、祝日（土曜日は12：30まで）

気になる病気

乳房にしこりがあったらまず受診 ～乳癌は女性にもっとも多いがん～

外科医師 松本 千鶴



松本先生(左)と外来スタッフ

①乳房にしこり…どうしよう…

乳房にしこり…なんとなく痛くもないし受診するのはなあ…とためらう方も多いのがこの症状です。“乳癌だったらどうしよう…”と。

ひとことで乳房のしこりといっても、悪性(いわゆる乳癌)のことも、また良性(癌ではなく、多くは線維腺腫や乳腺症など)のこともあるのです。

まずは、乳房にしこりや違和感を感じたら、気軽に受診してください。

②当院でできる検査と治療

当院では、診断から治療、横浜市の検診を主にマンモグラフィーや超音波、細胞診、針生検やマンモトーム(マンモグラフィーでしかわからない病変を検査する機械です)を積極的に行っております。

検査スタッフの多くは女性がしており、安心して検査をうけていただいております。

万が一、乳癌と診断された場合、手術、薬物治療(抗がん剤治療、ホルモン療法)、放射線療法なども行っております。

③横浜市のマンモグラフィー併用検診

毎週火曜日、横浜市のマンモグラフィー併用検診をしております。横浜市の検診は2年に一度。また今年の10月からは40、45、50、55、60歳の方には市から無料クーポン券が配布されます。これを機会に、初めての方も、またそろそろの方も検診を受けてみてはいかがでしょうか。

④ところで乳癌ってどんな症状？

乳癌は乳腺から発生する悪性腫瘍(がん)です。症状は、乳房のしこり、皮膚の発赤、えくぼ、乳首の変形、乳首から血液まじりの分泌物が出る、などの症状がみられます。

乳癌の初期はほとんど全身症状(食欲がない、体重が減る、体調が悪いなど)がなく、乳房のわずかな変化から早期発見することが大事です。また、早期に発見すれば約90%は治癒すると言われていています。

⑤乳房を気にかけてください

現在、日本女性が最もかかりやすいがんは乳癌で、女性の20人に1人が乳癌になると言われています。年々増加し、1年間に約1万人が亡くなっています。

また乳癌にかかる人は30歳代から40歳代にかけて急激に増加します。女性が人生で輝いているときになりやすい癌…それが乳癌といえます。

当院外科外来では乳房に悩みのある方を受けつけております。お気軽にご相談ください。

横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 日塔整形外科部長

045-851-2621 (代)

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 毎月第2月曜日 午後7時～

開催場所 当院大会議室

連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長

045-851-2621 (代)

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

コメディカルからの一口メモ

栄養管理室長 長谷川 輝美

平均寿命が伸びる一方で、がんや糖尿病などの生活習慣病の増加が大きな問題となっています。厚生労働省では、生活習慣病の特性や個人の生活習慣の重要性について理解を深め、さらに健康づくりの実践を促進するために、今年の9月1日から9月30日までの1ヶ月間を「健康増進普及月間」としました。喫煙、運動不足、不健康な食事といった生活習慣は、糖尿病、心疾患、脳卒中等の主な原因です。

なかでも脳卒中は、我が国の「死因：第3位」、「寝たきり原因：第1位」、「要介護原因：第1位」のため、脳卒中对策にむけ立法化の動きもでてきています。

毎年、10月29日は「世界脳卒中デー」、11月14日は「世界糖尿病デー」と銘打って、世界的規模で予防や治療に関して普及推進を図っています。

“アラ40”と呼ばれる年齢になり、いくつかの検査項目にひっかかり始めたら、生活習慣を見直してみませんか？

「栄養士による食事相談」の希望がございましたら、医師にお申し出ください。



- * お食事の 塩分・脂肪 控えめに
- * 万病の 引き金になる 太りすぎ
- * 手始めに 高血圧から 治しましょう
- * 糖尿病 放っておいたら 悔い残る
- * アルコール 控えめは薬 過ぎれば毒
- * 予防には タバコを止める 意志を持って

「脳卒中予防10か条」より抜粋



トピックス

“新型インフルエンザ支援、表彰される”

4月下旬のメキシコ・米国における豚インフルエンザ（H1N1）の発生から始まった新型インフルエンザウイルスの流行に対し、その水際対策として国が行った停留施設受入者への検疫業務に当院も1泊2日の泊まりがけの勤務で2回、職員（医師2名、看護師6名、計8名）を派遣いたしました。このことについて、8月末に厚生労働大臣より、「新型インフルエンザの国内へ侵入防止に多大な貢献をした」として病院、派遣者あてに感謝状が贈呈されました。



感謝状伝達式 派遣された職員と病院幹部

研 修 報 告

○平成21年度災害時医療救護活動研修会(神奈川県主催)に参加して(横浜市)

西3階病棟 副看護師長 信田 美幸

平成21年9月4日(金)に平成21年度災害時医療救護活動研修会基礎研修に参加させていただきました。研修では災害医療総論、神奈川県の災害時医療体制、災害時の医療対応の実際について学んできました。

関東地区と東海地区の2つの地区は、大地震が起きる可能性が高いと言われています。災害予測についてもいろいろ検証されていますが、災害発生5分前にやっとわかる程度と言われており、実際のところ災害予測は難しいようです。

当院は災害時拠点病院としての役割を担っています。災害時に1人でも多くの被災者を救出するためには、日頃からの他機関との連携について具体化すること、災害時における指示命令系統の把握が重要であり、また、トリアージの方法として医療対応側の負荷を軽減するための大まかなふり分けを目的としたケアフライトトリアージや、処置緊急度の区分わけを目的とした医療トリアージを理解し、実践できるように訓練する必要があると感じました。

今回の研修は、医師、歯科医師、看護師、病院職員、消防職員、警察職員、行政機関職員、柔道整復師などが参加対象となっており、他の職種の方々の役割なども知ることができました。

職員も災害に対する意識を高め、いざという時慌てることのないようにしていかなければならないと思いました。

いつか来る災害に備えて～横浜市総合防災訓練に参加して～

救命救急センター副看護師長 渡部 明

横浜市は、平成19年に市内5ヶ所の救命救急センターを持つ病院で横浜救急医療チーム(YMAT)を編成、当院も看護師4名と医師2名が隊員登録をしている。市内で発生する自然災害や交通事故等により、要救助者を救出する時に医療行為が必要な状況で消防の要請で出動する。今回8月30日に行なわれた横浜市総合防災訓練に参加した内容を報告する。

市内で震度7の地震が発生し甚大な被害が発生し、消火・救出活動が必要という想定で訓練が開始された。私達は消防YMAT連携隊とともに災害現場に入り警察・消防のレスキュー隊、消防団、自衛隊と協力し建物に下敷きとなった要救助者の重症度判定(トリアージ)、助け出すための医療的準備(輸液の実施)、搬送班へ指示を行った。実際に救出用の重機を使用するため、工事現場同様の音がする中での医療行為や指示のため、コミュニケーションがとりづらく、常に緊張をした中での訓練となった。

災害発生時は、警察・消防・自衛隊や地域の方々と医療者が協力して要救助者の救援に当たるため、一同に集まって訓練を行う意義は大きい。いざという時地域の皆様のために円滑に救護活動ができるように日々訓練を積んでいきたい。



トリアージをして輸液の実施をしている様子



他の救助隊と情報交換



訓練後、講評を聞くYMATチーム(中央3名)
参加者 救命救急センター副部長 藤田 誠一郎
// 副看護師長 渡部 明
// 看護師 仲野 望

行事紹介

看護学校 楓葉祭

横浜医療センター附属横浜看護学校
2年 野地 裕美

去る、10月10日土曜日、横浜医療センター附属横浜看護学校の第45回楓葉祭が行われました。今年のテーマ「YES、WE、CAN! 人と人とのつながり」は、やればできるという精神、そして仲間や地域の皆さんとの交流を深めようという意味が込められています。今年是一般公開がまだ3回目で総学生数が開校以来一番多く無事成功できるか不安でいっぱいでした。しかし、やればできるの精神で実習や試験などの合間を縫って学生が一丸となり準備を進めることができました。



看護技術体験「赤ちゃんの沐浴」



模擬店

本番当日は、曇天模様で少々肌寒かったものの多くの地域の方々にお越しいただきました。模擬店、ゲーム、学校説明会、看護技術体験、学習内容展示を通し地域の方々との交流を深められ成功をおさめることができました。来年もよりよい楓葉祭を目指し、みなさんと交流を深め我が校をもっと知ってほしいと思います。ご来場ありがとうございました。

病院納涼祭

(前)管理課厚生係長 平野 乃亜

夏だ、祭りだ、納涼会だー!! ということで、今年もやってまいりました横浜医療センター納涼会。高橋院長先生の発起により3年前の夏に始めたこの会も、ようやく横浜医療センターの恒例行事として定着してまいりました。

開催日時は7月28日(火) 18:00~20:00、暑気払いと職員の親睦を兼ね、昨年同様横浜医療センター附属看護学校の体育館にて行われました。

3回目の開催となる今年は、トルコ人の演出によるケバブの販売や、焼きそば・フランクフルト等々、盛り沢山の料理と飲み物、今年4月に当院に来た研修医の先生達による笑いあふれる歌とダンス、豪華景品が当たる大ビンゴ大会と、例年以上の盛り上がりを見せ、職員や家族の笑顔が尽きぬ中で成功裏に幕を閉じることができました。

さて、来年は新病院完成の記念すべき年となります。病院から地域へ、恒例となったこの納涼会も、新生横浜医療センターの旗印として新たな一歩を踏み出していきたいと思う次第です。



歓談のひととき



当院の名司会者(筆者)

職 場 紹 介

●今回は西4階病棟と
MA室の紹介です。

西4階病棟

西4階病棟看護師長 土淵 真紀子

西4階病棟は呼吸器内科、糖尿病内分泌内科、リウマチ科、循環器内科の混合病棟です。

今回、当病棟で活動している糖尿病チームケアユニットについて紹介します。このチームは、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、臨床検査技師で結成し、糖尿病患者様や家族の方に療養指導を行っています。教育入院では、3泊4日、1週間、2週間コースがあり、チームのスタッフがそれぞれの専門分野での講義やケアを行う「糖尿病教室」を行っています。また、地域連携では、他施設との学習会や情報交換なども活発に行っています。



ウォークラリーでの記念写真

その中で、今回は院外で開催された、患者様と職員が参加する「ウォークラリー」を紹介します。今年度は9月27日の日曜日に横浜のこどもの国で他施設の方々との合同で行われました。当院スタッフは、昨年作成したおそろいのTシャツ着用で10時に現地集合で、当院患者会会員の方5名と共に職員と家族の38名が参加しました。午前中は広い園内の景色をゆっくり見ながらのスタンプラリーで、楽しいウォーキングをしながらの運動療法でそれぞれが少し汗ばみながらゴールテープを切り終了。大きなシートを敷いて楽しいみんなでの昼食タイムです。お腹も落ち着き、そよ風が心地良い昼下がりには病気の理解を深めていただくように、専門医の講義の始まりです。今回は、インフルエンザの注意事項が大変参考になりました。病気や日常生活に関連したクイズも行い、豆知識が満載でした。

楽しい日常グッズとこんにゃくで出来たお米のサンプルをお土産に楽しい一日を締めくくりました。こんな楽しい企画がありますので、今度是非、参加してみてください。

西4階病棟には、糖尿病の研修を受けたスタッフを配置して、より専門性の高いケアを提供できるように日々糖尿病の看護に励んでおります。医療者間では、定期的にカンファレンスで意見交換を行い、患者様一人一人の個性を尊重し、望まれる看護が提供できるように今後も努めて行きたいと思っております。

患者様の教育入院や治療のためにお役に立てればと思っております。

今後どうぞよろしく願いいたします。

MA室

メディカルアシスタント 田中 あゆみ

外来棟2階の泌尿器科外来と皮膚科外来の向かい側に「MA室」という部屋があるのをご存じでしょうか？MAはメディカルアシスタントの略で、日頃お忙しい先生方の負担軽減を図るため、事務作業を補助する目的で平成20年12月に設置されました。

主な業務としては、①診断書、主治医意見書等の文書作成の補助と管理②診療連携に関わる紹介状、診療情報提供書の管理と発送③入院診療録におけるデータ、退院時要約の整理と製本④病棟における画像診断フィルムの管理⑤診療、救外に関するデータ管理と台帳作成⑥研究調査対象患者様のデータ抽出⑦がん登録の作成補助、追跡調査⑧教育、臨床研修に関わる業務⑨各種会議の資料作成⑩医局内の備品環境整備等、様々な業務をさせていただいております。

院内ではネームプレートのピンクのストラップが目印です。先生方の事務作業に割く時間が少しでも軽減できたと日々精進しております。よろしくご指導お願い申し上げます。



MA室のスタッフ

お知らせコーナー

看護師募集のお知らせ

平成22年春の採用について

- 応募資格
看護師、助産師の資格を有する方、または平成22年3月に資格取得見込みの方。
- 試験日 平成21年11月28日(土)、平成22年1月16日(土)
- 試験会場 横浜医療センター
- 試験内容 筆記試験および面接試験
- 応募要項 必要種類

	受験願書	卒業(見込)証明書	成績証明書	看護師等免許証(写)
資格取得見込者	○	○	○	※
有資格者	○	○		○

※准看護師免許証がある場合は写しを提出。

書類提出先

〒245-8575 神奈川県横浜市戸塚区原宿3-60-2
国立病院機構 横浜医療センター 管理課給与係長 あて

書類提出締め切り

試験日の10日前までに必着のこと。

平成21年度途中採用について

常勤看護師(夜勤可能な方)、非常勤看護師(日勤・夜勤専門)を随時受け付けていますのでご連絡ください。

問い合わせにつきましては、下記担当までご連絡頂きますようお願い致します。

(担当) 横浜医療センター 管理課給与係長

TEL 045-851-2621 E-mail 3133jy01@hosp.go.jp

病院見学について

お電話、もしくはメールにてご連絡下さい。随時対応させていただきます。

看護学生募集のお知らせ

一般入試：22年1月21日(木)

	願書受付期間	受験科目
一般入試	H21.12.15(火)~ H22.1.13(水)	(午前) 国語総合(現代文) 英語I・II 数学I (午後) 面接



●携帯サイトはこちらから

●学校説明会について

日時 平成21年12月5日(土) 受付9:00~ 説明会9:30~12:30

内容 看護学校の概況説明

・教育理念、教育目的、教育目標

・カリキュラム(教育内容・実習など)

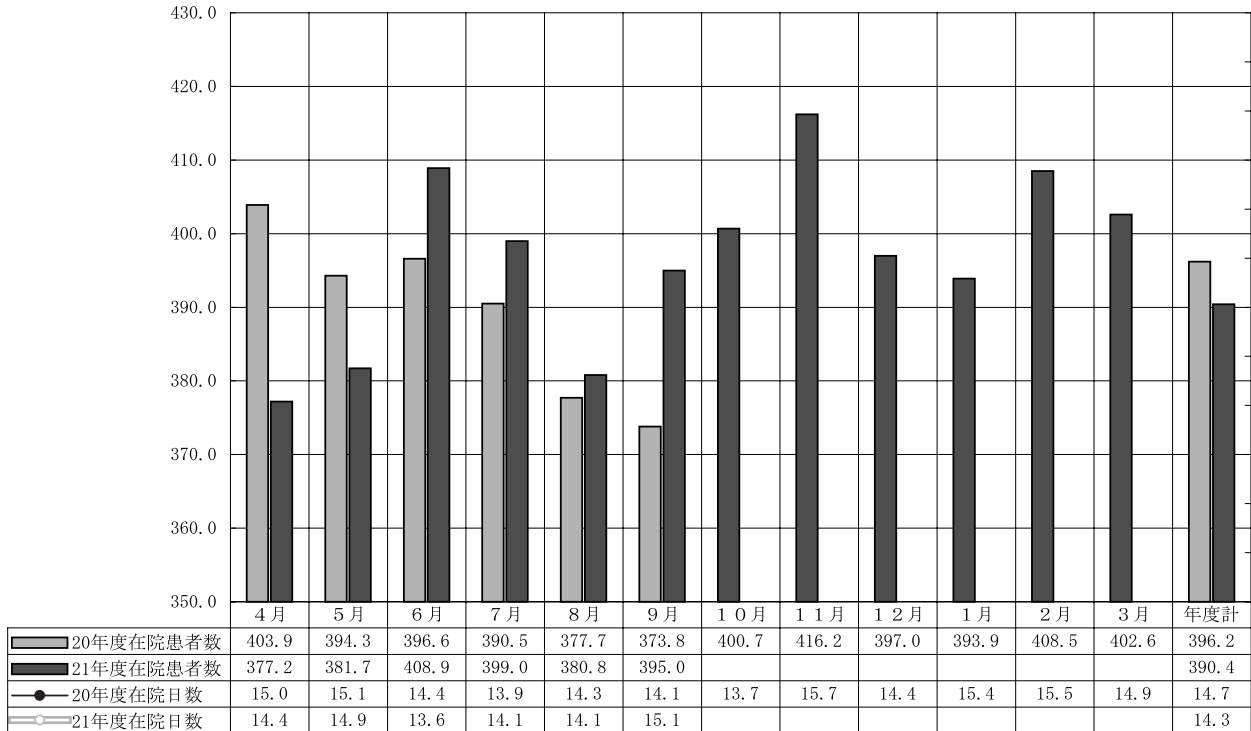
入学試験について 学校生活・年間行事について 公開講座(ミニ授業)

技術見学・体験(数種類の看護技術を実際に体験できます) 校内見学 懇談会

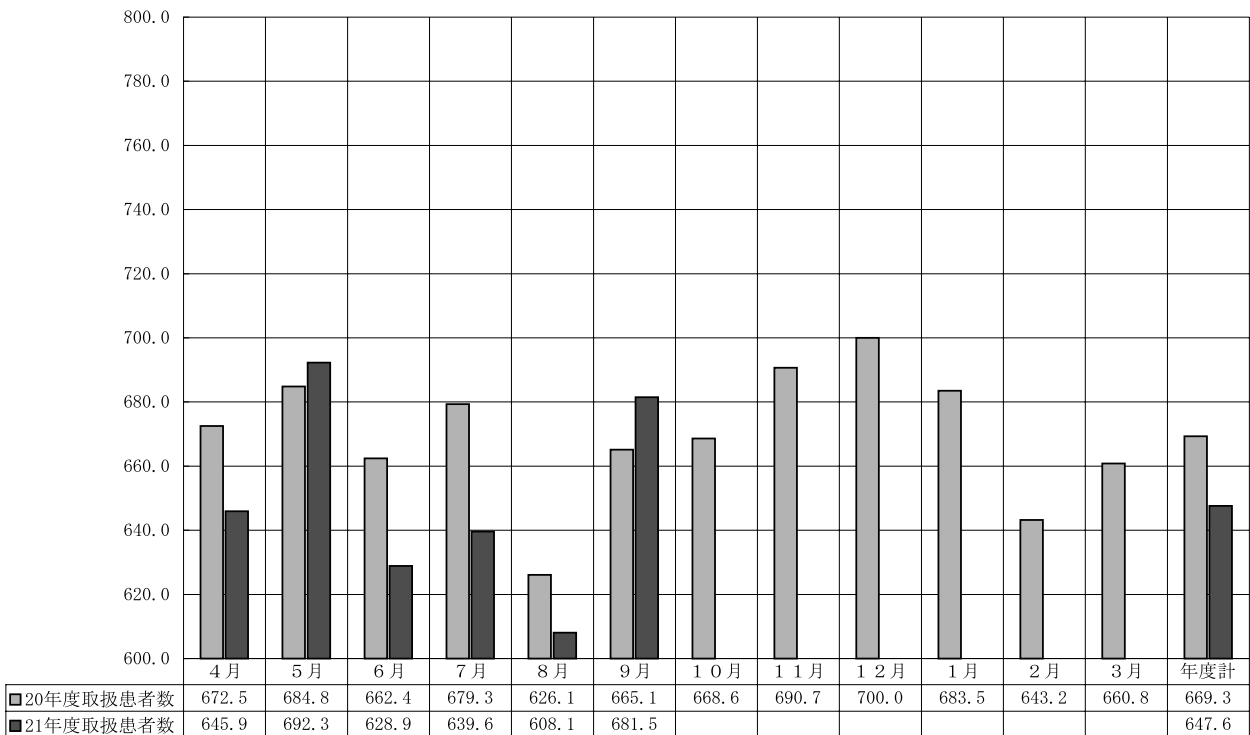
・小グループに分かれ、在校生と懇談 *進路指導の先生方を対象にした懇談会も計画しています

患者数等の動向～1日平均～

入院患者数年度別月別比較（H21年9月30日現在）



外来患者数年度別月別比較（H21年9月30日現在）



編集後記

天高く、歩道に赤い木の葉が舞いおります。この一年、季節を追うごとに病院の風景は様変わりしてきました。今は黄金色に染まった木々の間に、新棟が白くそびえ立っています。

平成22年4月にむけて看護職員の募集活動で歩いた各地では本当に多くの方々からの反響を頂きました。年が明ければ間もなく新採用者の方々を迎える準備に入ります。いよいよ新病院稼働と身のひきしまる思いです。

知恵と知識と技術を結集する、サクラ咲く季節を待ちわびています。

副看護部長 長田 恵子



診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考	
内科	総合内科	第1・3週内科 第2・4・5週循環器	第1・3・4・5週消化器 第2週 内科	榎原 基史	高橋 竜哉	曾我 隆義	▲: 紹介状持参の方のみ ■: 午後の予約のみ ■: 午後の予約のみ 《循環器科新患当番医》 (月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出] (火)田中・(水)岩出・(木)田中[岩出]・(金)網代
	糖尿病 内分泌内科	高木 佐知子	川原 智子	宇治原 誠	宇治原 誠		
	神経内科	上木 英人		検査日	高橋 竜哉(新患) 遠藤 雅直(予約)	高橋 竜哉	
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	榎原 基史	
	消化器内科	高橋 麻衣	鈴木 大輔	松島 昭三	野登 はるか	小松 達司	
	循環器科	内田 吉枝 加藤 丈二	岩出 和徳 ハースマー外来(交代制)	田中 直秀	▲田中 直秀	岩出 和徳	
	リウマチ膠原病科	曾我 隆義	検査日	検査日	関口 章子	■関口 章子	
心療内科	検査日	森田・佐倉	武川 吉和	検査日	検査日	完全予約制(要紹介状)で午後のみ<火曜日>(物忘れ外来) / <水曜日>(一般・小児心身症)	
精神科	森田 睦郎	武川 吉和	山口 和己	佐倉 義久	武川 吉和	※月～金: 初診の方は10時までに受付を済ませて下さい。(要紹介状、1日2名の予約制) 初診は左記の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。	
小児科	鈴木 陽一	菅井 和子	菅井 和子	鈴木 陽一 注⑤	小林 慈典 注⑦	注⑦ 第2週、休診 5週 菅井 注⑤ 第5週 小郷	
	石津 博子 注① 小林 慈典 注②	野澤 智 注③	藤塚 麻子 注④	長濱 晶子 注⑥	小郷 寛史	注① 第1週 休診 第3週 菅井 注③ 第1週 本井 第2週 及川 注④ 第3週 鈴木 注⑥ 第5週 野澤	
外科	清水 哲也	関戸 仁	松田 悟郎	松本 千鶴	注⑥	注⑥ 急患のみ受付	
	佐野 渉	浅野 史雄	一万田 充洋	佐野 渉			
呼吸器外科				山仲 一輝	坂本 和裕 山仲 一輝 椎野 王久	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。	
整形外科	国府 秀俊 山崎 吉以 黒柳 美里	日塔 寛昇 国府 秀俊 橋本 正敏	国府 秀俊 山崎 吉以 岩本 直之	日塔 寛昇 安羅 有紀 橋本 正敏	安羅 有紀 岩本 直之 黒柳 美里	(受付時間) 初診・予約外再診とも 8:30～10:00 注⑦ 予約のみ	
	日塔 寛昇 注⑦						
形成外科	村下 一晃		村下 一晃	村下 一晃	村下 一晃		
脳神経外科	急患のみ (手術日)	▲ 交代医師 ※(脳ドック)	向原 茂雄 ※(脳ドック)	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫 ※(脳ドック)	▲: 第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM1:00～5:00の間に地域医療連携室までお問い合わせください	
心臓血管外科	益子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
皮膚科	高須 博	高須 博	高須 博	高須 博	高須 博	水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼・往診はお断りしています。 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。	
	谷口 友則	谷口 友則	谷口 友則	谷口 友則	谷口 友則		
泌尿器科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康		
産婦人科	向田 一憲	後藤 美緒	窪田 与志	乗杉 輝彦	中村 秋彦		
	窪田 与志	長谷川 瑛	神保 覚子	岩佐 朋美	向田 一憲		
眼科	清水 康平	手術日	清水 康平	清水 康平	手術日	(受付) 初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30～10:00 火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30～9:30	
	秦 桂子		秦 桂子	秦 桂子			
耳鼻咽喉科	新橋 渉	向出 光博	春日井 茂	高津 光晴	山口 央一	(受付) 初診・予約外再診とも 8:30～10:00まで	
放射線科		皆川 由美子 注⑦	幡多 政治 注⑧			※注⑦ 火曜日13:30～15:30【予約は内線4307まで】【完全予約】 ※注⑧ 水曜日9:00～11:00【完全予約制】	
歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 / 赤津 (午前初診・ 午後再診)	手術日	塩入 / 赤津 (午前初診・ 午 後再診)	塩入重彰(再診のみ) 赤津千絵(再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30～10:00、初診急患は随時受付(紹介状から直接ご連絡ください)。再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
専門外来 (午後のみ)	小児	アレルギー(鈴木)	アレルギー(鈴木)	アレルギー(菅井)	アレルギー(菅井)	アレルギー(菅井)	
		アレルギー(菅井)	アレルギー(菅井)	アレルギー(菅井)	アレルギー(菅井)	アレルギー(菅井)	
		アレルギー検査	アレルギー検査	アレルギー検査	アレルギー検査	アレルギー検査	
	外科	癌化学療法外来	乳癌検診	癌化学療法外来	癌化学療法外来	癌化学療法外来	乳癌検診については、毎週火曜日午後2時から2時30分まで、予約制で行います。予約は②番窓口及び電話で行います
		癌化学療法外来	癌化学療法外来	癌化学療法外来	癌化学療法外来	癌化学療法外来	
	スポーツ整形外科		※注⑨				※注⑨ 担当医: [国府] 毎週15:00～16:00
	産婦	母親教室	助産師外来※注⑩ 母乳外来※注⑪				※注⑩ 第2・4週の午前 ※注⑪ 各週午後
アルコール							
循環		ハースマー外来 ※注⑫				※注⑫ 第1・3・5週[加藤] 第2週[網代] 第4週[内田]	

初 診 受 付 : 平日 8:30～10:00
再 診 (予約外) 受 付 : 平日 8:30～10:00
休 診 日 : 土曜・日曜日・祝日・12月29日～1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月～金 8:30～17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変更箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。
又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廓等が点在していました。

